



清水寺





## 音羽山清水寺

は、奈良時代の

末、宝亀9年(7

78)、奈良子島

寺の延鎮上人が

霊夢をうけ、音

羽山麓の滝のほ

とりに草庵をむ

すんで、霊木から彫作した千手観音像を祀ったことが起源とさ

れます。金色水とも延命水ともよばれる音羽の滝に因んで「清

水寺」の名がつけられました。

宗派は、北法相宗(きたほっそうしゅう)で、単立の一寺一

宗です。

法相宗は、唯識(ゆいしき)宗ともいって、四〜五世紀のインドの仏教学者、弥勒(みろく)・無着・世親が開立した瑜伽(ゆが)派の教理を戒賢論師らが整理し、それを学んだ中国・唐の玄奘三蔵の弟子、慈恩大師が『成(じょう)唯識論』を基礎として開宗したものです。

日本では奈良時代に唐に留学した奈良・元興寺の道昭が初めて伝え(南寺の伝)、さらに興福寺の玄昉もこれに続きました(北寺の伝)。開創以来、清水寺は北伝の法相宗を伝統してきましたが、1965年「北法相宗」として独立。「北」には、北寺の伝







に立脚するとともに、南都・奈良に対して北の京都に立地するという意味も込められています。

宗旨は、「万法唯識」「三界唯一心。心のほかに別の法はなく、心と仏および衆生、この三つは差別なし」、即ち、あらゆる現象（相）は唯（ただ）人間の心のはたらかの反映であるとしています。

西国三十三所観音霊場「第十六番」でもある清水寺は1994年ユネスコから世界遺産に指定されました。

本尊は十一面（四十二臂）千手観音で本堂内々陣の厨子（国宝）内に秘仏として祀られています。そのために、厨子前に本尊の姿を写したお前立ち仏像を安置しています。一般の四十臂千手観音とは違って二臂多く、その最上の左右二臂を頭上高く挙げて小如来像を捧戴する「清水型」観音と呼ばれる独特の姿

が特徴です。また、地藏菩薩・毘沙門天を両脇侍として左右厨子内に従え、二十八部衆・風神・雷神を眷族（けんぞく、従者）としています。



## 清水寺略年表

年号	西暦	内 容
宝亀9	778	大和子島寺の賢心、寺を創建。
宝亀11	780	坂上田村麻呂、練行中の賢心に遭い、観音に帰依して十一面千手観世音菩薩を安置。
弘仁1	810	鎮護国家の道場となり、「北観音寺」の法号を賜い、「清水寺」の額を掲げる。
承知14	847	嵯峨天皇・皇子誕生祈願により葛井親王、三重の塔を創建。
承平7	937	轟門に多聞天・持国天を奉祀する。
永延2	988	花山法皇、西国三十三所観音霊場の巡礼再興に出発(現在、清水寺は第十六番札所) ○南都・興福寺と北嶺・延暦寺の抗争によって、興福寺の最前線に立たされ続ける。
康平6	1063	8月、火災に遭い堂宇焼失。願文は藤原明衡の起草(「清水寺縁起」を記述す)。
寛治4	1090	白河上皇・てい子内親王行幸、7日間参詣される。翌年、本堂以下全焼。 ○「今昔物語」に清水寺観音の霊驗物語十話が載る。 ○藤原成通が本堂舞台の欄干上を蹴鞠で往復する。
永万1	1165	比叡山僧兵が大挙来襲、本堂以下ことごとく焼き討ちす。
承久2	1220	3月、本堂・釈迦堂・三重塔が焼失。 ○「平治物語」「平家物語」に清水寺信仰が記述される。
正元1	1259	4月、火災の為、本願堂・塔二基・中門・西門・地藏堂・二社など焼失。
文永11	1274	12月、火災により本願堂・塔二基・大門・西門・車寄など焼失。 ○この頃、ほぼ現在に近い堂塔伽藍が出来ていた。
文明1	1469	7月、本堂・塔以下の諸堂、応仁の乱の兵火に遭い焼失。
永正14	1517	「清水寺縁起絵巻」制作さる(土佐光信画、中御門宣胤ら筆)
天文17	1548	4月、三重塔落慶供養。
天正17	1589	豊臣秀吉、寺領寄進、門前境内地子免除の朱印状を下す。
寛永6	1629	9月、本堂以下焼失、春日社・鐘楼・仁王門・馬駐ら残る。
寛永8	1631	2月、徳川家光、清水寺の再建を發願、西門・釈迦堂再建され、翌年、三重塔も再建。
寛永10	1633	11月、本堂・奥の院その他の諸堂も再建さる。 ○扁額絵馬「末吉船図」「角倉船図」ら奉納される。
寛永16	1639	成就院が再建され、庭園も修築される。
元禄4	1691	オランダ商館員ケンペル来山。
文政9	1826	シーボルト来山、岸駒「虎の図」石灯笼奉納。
明治1	1868	神仏分離令が出され鎮守の地主権現社が「地主神社」として分離独立する。
明治3	1870	寺社領上地令によって境内地が1/4(約13万㎡)に縮小される。
明治18	1885	法相宗へ復帰。
明治30	1897	本堂(舞台を含む)、特別保護建造物(国宝)に指定される。
昭和9	1934	9月、室戸台風により音羽山全山の樹木が倒れ、本堂西回廊倒壊。
昭和18	1943	成就院・庭園、名勝に指定される。
昭和25	1950	本堂舞台大修理完成。
昭和40	1965	北法相宗を立宗。大西良慶和上、初代管長に就任。
昭和62	1987	三重塔解体修理・彩色復元落慶。
平成1	1989	開創1200年記念「京都・清水寺展」全国10会場で開催。
平成4	1992	春季・夜の特別拝観を開始
平成5	1993	千日詣り・宵参り復活。
平成12	2000	経堂解体修理落慶。御本尊御開帳(3/3~12/3)。